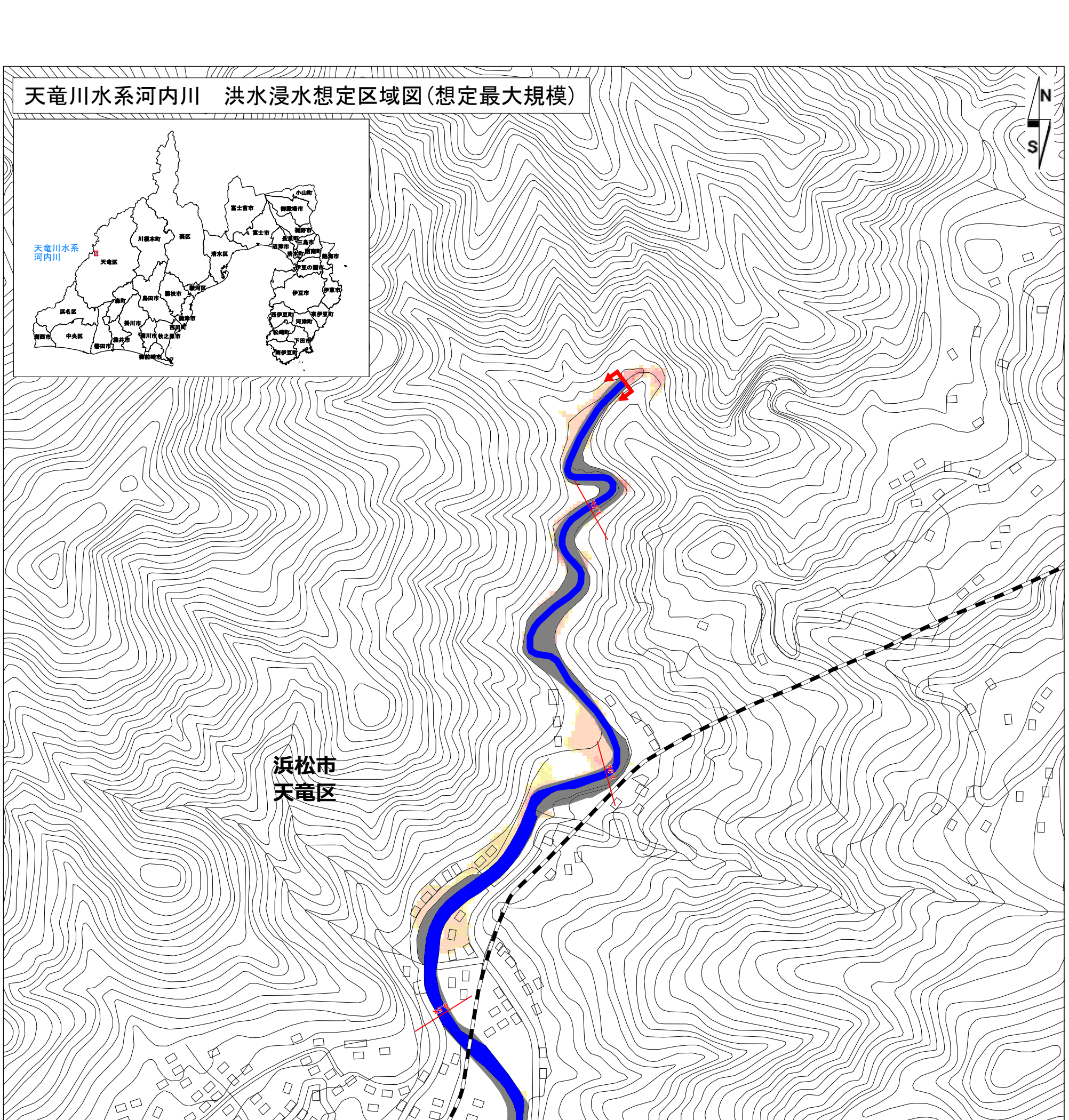
天竜川水系河内川　洪水浸水想定区域図（想定最大規模）



1）説明文

① この図は天竜川水系河内川について、水防法の規定により指定された想定し得る最大規模の降雨による洪水浸水想定区域図、浸水した場合に想定される水深を表示した図面です。

② この洪水浸水想定区域図は、作成時点の河道形状等を勘案して、想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水により河内川が氾濫した場合の浸水の状況を、シミュレーションにより予測したものです。

③ なお、このシミュレーションの実施にあたっては、対象河川以外の（決壊による）氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨による氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この浸水が想定される区域以外の区域においても浸水が発生する場合や、想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

2）基本事項等

①	作成主体	静岡県
②	指定年月日	令和7年3月31日
③	告示番号	静岡県告示第255号の17
④	指定の根拠法令	水防法（昭和24年法律第193号）第14条第2項
⑤	対象となる河川	天竜川水系河内川（実施区間） 左岸：浜松市天竜区佐久間町佐久間字初袋675番地先から天竜川合流点まで 右岸：浜松市天竜区佐久間町佐久間字白セリ向2129番の2地先から天竜川合流点まで
⑥	前提となる降雨	河内川流域の24時間総雨量836mm
⑦	関係市町	浜松市

3）その他計算条件等

① この図は、河内川の県が管理する区間で、「小規模河川の洪水浸水想定区域図作成の手引き」（令和5年7月）等に基づき、越水、溢水又は破堤した場合の氾濫が推定される範囲、氾濫した場合に推定される浸水深を表示した図面です。

② 河川周辺の地形を考慮し、氾濫水が河川に沿って流下する区間においては、河道とその周辺を一体として100mごとに浸水位を計算し、5mメッシュの平均地盤高との差をとることで浸水深を算出しており、氾濫水が地形に応じて拡散する区間においては、対象区間をおよそ25m間隔の格子（計算メッシュという）に分割して、これを1単位として水深を計算しているため、微地形による影響が反映できない場合があります。

③ 河道の形状は、航空レーザ測量データを使用して作成しており、水面下等一部の地形を適切に評価できない場合があるため、氾濫した場合に推定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

④ 浸水が想定される区域は、氾濫計算結果から計算メッシュごとの想定浸水位を算出し、隣接する計算メッシュとの連続性や連続盛土構造物（道路や鉄道の盛土など）等を考慮して図化しています。

⑤ 河川部分のメッシュ浸水深を計算しない手法であるため、河川沿いの浸水深が無着色の箇所がありますが、実際に浸水が発生した場合には、周辺メッシュと同等の浸水深になると想定されます。

この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基盤地図情報を使用した。「測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 5JHs 874」

※A1版出力時は1：3,000、A3版出力時は1：6,000